



森づくり通信

No.11
平成21年7月6日

みやざき森づくりボランティア協議会

暑くなりましたね。もうそろそろ梅雨明けでしょうか。会員の皆様、お元気ですか？今年度、最初の事業であります協議会総会・研修会もホスト団体であります「にわたこの会」の皆様や、日南市酒谷地区の住民の方々の協力により無事終了することができました。大変充実した実りの多い総会と研修会でありました。改めて、協力くださいました日南市の皆様、参加していただきました会員の皆様、ありがとうございました。

みやざき森づくりボランティア協議会研修会&総会終了



日高茂信氏



記念植樹



菊池武志氏

研修会・13日13時より

※にわたこの会フィールド見学「快気祝いの森」、記念植樹

※講演会 快気祝いの森 森のステージ、参加者約60名

講演：日高茂信氏（やっちみろかい酒谷代表）

演題「小さな自治と足元学で地域づくり」

日高氏独自の足元学という視点から、日高氏自身が地域のリーダーとなり地域住民主導の地域づくりと、その活動の理念、活動の展開法等を述べられ、地域環境の創造のための提言や、行政とのかかわりなどにも言及されました。地域住民が生き生きと生活するようになり、病院通いも減り、いつまでも青春を謳歌するような生活をしておられるとのこと。自信と誇りに満ちた生き方をされている素敵なお方でした。

※アジサイロードの見学、郷土芸能「泰平踊り」鑑賞

※懇親会

協議会会員14団体、35名、にわたこの会会員、地域住民等、約55名参加
地産地消メニューに舌鼓をうち、各団体の紹介を交えながらの交流会となりました。

※小布瀬の滝、坂元棚田見学

翌日の総会開催の前に、小布瀬の滝までの散策と棚田百選にも選ばれている坂元棚田を見学しました。当日は、棚田オーナーによる田植えを企画されていたのにもかかわらず、忙しい中丁寧に案内していただきました。前夜の懇親会や朝食でおいしい棚田米を、お腹一杯いただいておりますか、小松山の麓に広がる雄大な景色に感動でした。

第8回定期総会・14日10時～12時

場所：日南市酒谷コミュニティセンター

出席加盟団体:宮崎グリーンヘルパーの会、水源の森づくりをすすめる市民の会、MFV会、NPO法人ひめしやら倶楽部、大塚台緑地林里山整備実行委員会、NPO法人どんぐり1000年の森をつくる会、NPO法人ひむかり山自然塾、ロキシー・ヒル、日本熊森協会宮崎支部、日向市ふるさとの自然を守る会、環境ボランティアグループ環の会、NPO法人子どもの森、ふる里のどんぐり森づくり会、にわたこの会、計14団体

オブ参加：宮崎県自然環境課（日高、天本）宮崎県緑化推進機構（服部、大木）

議長：二宮信（ロキシー・ヒル）

1. 開会

19加盟団体中14団体により、総会の成立報告。

2. 会長挨拶

当協議会の発足経過の説明。森林環境税の導入により宮崎県緑化推進機構を通して、事業予算の助成を受けるようになり、昨年、県民を対象とした普及啓発事業として「森から海までシンポジウム」を開催した。今までの規約では、今後の当協議会の活動に支障が出るのが懸念されるため、今回規約改定を提案する。これからも豊かな森づくりを目指して、各団体一緒になって楽しみのある協議会作りをしていきたい。

3. 加盟団体紹介

参加加盟団体を名簿順に名前だけの紹介。宮崎県自然環境課と宮崎県緑化推進機構からの参加者の自己紹介。

4. 議長選出

全員の承諾で二宮信さん（ロキシー・ヒル）を議長選出。

5. 議事（質疑応答）

・協議会収支決算と緑化推進機構の収支決算との誤差については、緑化推進機構決算のものもあり、それを含めて計上している為合致しない。

・第2条 「緑・森づくり活動」の「緑」の理由について、都市緑化や里山保全活動など活動の幅が広がっている。

・第2条 「普及啓発活動」は、誰を対象としているのかについて、加盟団体の会員や県民が対象となる。

・第4条 個人では、協議会に加入できないのかについて、個人からの問い合わせには、適切な団体を紹介している。個人は団体に所属し協議会に加盟する。

・第3条にも、技術講習と普及啓発活動を入れる必要があるのではについて、「その他、必要活動に関する事。」とあるので、その中に含まれていると理解してほしい。

・森づくりは海へとつながる活動であるので、次年度以降に、海に関する事を記述してはどうかについて、今後、理事会で検討していく。

・役員を選任は、県北・県央・県南のバランスを考えての構成なのかについて、県内のバランスを考えた人選である。

・監事は会計監査だけなのか事業執行も監査するのか、理事会への参加も必要ではないのかについて、規約9条の通りである。今後理事会で検討する。

6. その他

協議会用具一覧の説明と新役員の紹介（役員名簿、別紙掲載）

森林環境税の団体支援事業に関して、手続きが煩雑である。市町村への提出がなぜ必要であるのかなどの質問あり、自然環境課より必要性の説明を受けた。

7. 閉会



「総会風景」



「泰平踊り」



「記念撮影」

平成21年度第3回協議会理事会を6月30日に開催しました

場所：宮崎市民プラザ、市民活動支援センターミーティングルーム

出席者：函師会長、岩倉副会長、前原理事、横山理事、二宮理事、村上理事、飛松理事、飯干理事、オブ：宮崎県緑化推進機構・大木氏、にわたこの会 菊池氏(監事)

＊＊総会質問事項について理事会検討結果＊＊

- ・監事の扱いについては、規約第12条に沿って理事会を開催し、監事には理事会日程を知らせる。理事会終了後、議事録を送付する。議事録は、現時点においてもHPで公開しているので、会員であるなら誰でも見れる状況にある。監事が必要と判断した場合は出会してもよい。(監事了承済み)
- ・第2条においては、そのままでよい。
- ・規約の中に、海に関することを記述してはどうかという意見に対しては、昨年度「森から海までシンポジウム」を開催した経緯もあり、十分会員において、海と森のつながりの認識はあるので、特に規約に盛り込まない。規約で固めすぎないようにする。

お知らせ

高校生等への普及啓発を目的とした団体支援事業について、前号でも案内をしておりますが、まだNPO法人子どもの森が実施した門川高校生（一般含む）の豊かな森づくり活動だけしか希望団体がありません。助成を受けてない団体を優先に助成をと考えておりますが、希望団体がない場合は、過去に実施された団体にも、枠を広げたいと考えております。実施予定のある団体は、早めにご連絡ください。

事務局の連絡先 〒889-1605 宮崎県清武町加納乙320-95

みやざき森づくりボランティア協議会

ホームページ <http://moridukuri.com/>

事務局 飯干 喜恵

電話& F A X 0985-85-2601 E-メール office@moridukuri.com

